

2025年度 事業報告

1 奨学金の給与

定款第4条及び奨学規定に基づき、奨学金を次により支給した。

(1) 奨学金の給与額

外国人奨学生 1名 月額 80,000円

(2) 奨学金を給与した者

外国人奨学生

- ・ 2024年度採用外国人奨学生 9名中 4名

内訳

<u>国別</u>		<u>大学別</u>	
中国	1名	名古屋大学	1名
韓国	2名	名古屋工業大学	2名
ベトナム	1名	豊橋技術科学大学	1名

- ・ 2025年度採用外国人奨学生 9名中 5名

内訳

<u>国別</u>		<u>大学別</u>	
中国	2名	名古屋大学	1名
韓国	1名	名古屋工業大学	1名
ベトナム	1名	名古屋市立大学	1名
ミャンマー	1名	南山大学	2名

2 奨学生の採用

- ・ 2026年度採用外国人奨学生 8名

(奨学金支給は2026年4月から)

内訳

<u>国別</u>		<u>大学別</u>	
中国	2名	名古屋大学	3名
韓国	3名	名古屋工業大学	2名
ベトナム	2名	名古屋市立大学	2名
フィリピン	1名	南山大学	1名

3 その他事業

- ・ 認定式及び第1回交流会（2025年4月23日） 出席者9名

認定証の授与、自己紹介のプレゼンテーション

- ・ 第2回交流会（2025年8月22日） 出席者8名

「私の日本の推し文化（日本の好きな文化）」についてプレゼンテーション

- ・ 第3回交流会（2026年1月20日） 出席者5名

「有楽苑」の見学、茶道体験

2025年度 収支計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異
事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産利息収入	400	39,482	39,082
特定資産利息収入	6,927,000	6,972,598	45,598
償還差益収入	0	0	0
寄附金収入	0	0	0
雑収入	0	60,335	60,335
事業活動収入計	6,927,400	7,072,415	145,015
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
奨学金	8,640,000	8,640,000	0
その他事業費	140,000	99,404	△ 40,596
事業費支出計	8,780,000	8,739,404	△ 40,596
②管理費			
会議費	360,000	190,784	△ 169,216
雑費	80,000	122,207	42,207
管理費支出計	440,000	312,991	△ 127,009
事業活動支出計	9,220,000	9,052,395	△ 167,605
事業活動収支差額	△ 2,292,600	△ 1,979,980	312,620

正味財産増減計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	39,482	2,855	36,627
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	6,972,598	6,940,781	31,817
③ 寄附金収益			
寄附金収入	0	0	0
④ 雑収益			
受取収入	60,335	17,719	42,616
雑収入	0	0	0
経常収益計	7,072,415	6,961,355	111,060
(2) 経常費用			
① 事業費			
奨学金	8,640,000	11,520,000	△ 2,880,000
その他事業費	99,404	37,304	62,100
事業費計	8,739,404	11,557,304	△ 2,817,900
② 管理費			
会議費	190,784	237,612	△ 46,828
雑費	122,207	139,530	△ 17,323
管理費計	312,991	377,142	△ 64,151
③ 他会計への繰出金	0	0	0
経常費用計	9,052,395	11,934,446	△ 2,882,051
当期経常増減額	△ 1,979,980	△ 4,973,091	2,993,111
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
基本財産評価益	0	0	0
特定資産償還差益	0	0	0
固定資産受増益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
基本財産評価損	0	0	0
特定資産償還差損	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
過年度減価償却費	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,979,980	△ 4,973,091	2,993,111
一般正味財産期首残高	668,654,707	673,627,798	△ 4,973,091
一般正味財産期末残高	666,674,727	668,654,707	△ 1,979,980
II. 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
当期指定正味財産期首残高	0	0	0
当期指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	666,674,727	668,654,707	△ 1,979,980

貸 借 対 照 表

2026年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,830,553	5,855,911	△ 2,025,358
有価証券	0	0	0
前払金	0	0	0
流動資産合計	3,830,553	5,855,911	△ 2,025,358
2. 固定資産			
基本財産			
基本預金	21,000,000	21,000,000	0
投資有価証券	0	0	0
基本財産合計	21,000,000	21,000,000	0
特定資産			
公益目的保有預金	47,891,312	47,845,934	45,378
公益目的保有有価証券	593,952,862	593,952,862	0
特定資産合計	641,844,174	641,798,796	45,378
固定資産合計	662,844,174	662,798,796	45,378
資産合計	666,674,727	668,654,707	△ 1,979,980
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	666,674,727	668,654,707	△ 1,979,980
(うち特定資産への充当額)	(21,000,000)	(21,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(641,844,174)	(641,798,796)	45,378
正味財産合計	666,674,727	668,654,707	△ 1,979,980
負債及び正味財産合計	666,674,727	668,654,707	△ 1,979,980

財 産 目 録
2026年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
普通預金 (三菱UFJ銀行)	3,830,553		
流動資産合計		3,830,553	
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産現金預金			
定期預金 (三菱UFJ銀行)	21,000,000		
基本財産合計		21,000,000	
(2)特定資産			
公益目的保有預金			
普通預金 (三井住友信託銀行)	23,344,536		
普通預金 (三菱UFJ銀行)	24,546,776		
公益目的保有有価証券			
名古屋鉄道(株)社債 第50回 (2027満期、年利0.85%)	100,238,000		
関西電力(株)社債 第513回 (2027満期、年利0.46%)	100,376,000		
東京電力パワーグリッド(株)社債 第28回 (2029満期、年利1.01%)	101,568,342		
利付国債 第120回 (2030満期、年利1.60%)	99,576,000		
利付国債 第11回 (2033満期、年利1.70%)	100,000,000		
利付国債 第75回 (2052満期、年利1.30%)	92,194,520		
特定資産合計		641,844,174	
固定資産合計		662,844,174	
資産合計			666,674,727
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	0		
未払金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債	0		
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			666,674,727

監 査 報 告 書

2026年 5月20日

公益財団法人名鉄国際育英会
代表理事 安藤 隆司 殿

公益財団法人名鉄国際育英会
監事 安達 宗徳



当財団の2025年4月1日から2026年3月31日までの2025年度に係る計算書類及びその附属明細書＜並びに財産目録等＞の監査を行いましたので、以下のとおり報告致します。

1 監査の方法及びその内容

理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等から職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当財団の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書＜並びに財産目録等＞について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。また理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書＜並びに財産目録等＞は、当財団の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上